

■コメント

1. 手足口病

定点当たり10.3人とやや減少しましたが、依然多い状態が続いています。

手足口病は、乳幼児を中心に主に夏に流行がみられるウイルス性の疾患です。

手足口病患者からの検出ウイルスとして、今年 は全国的にコクサッキーウイルスA6型が多く報告されています。(次頁参照)

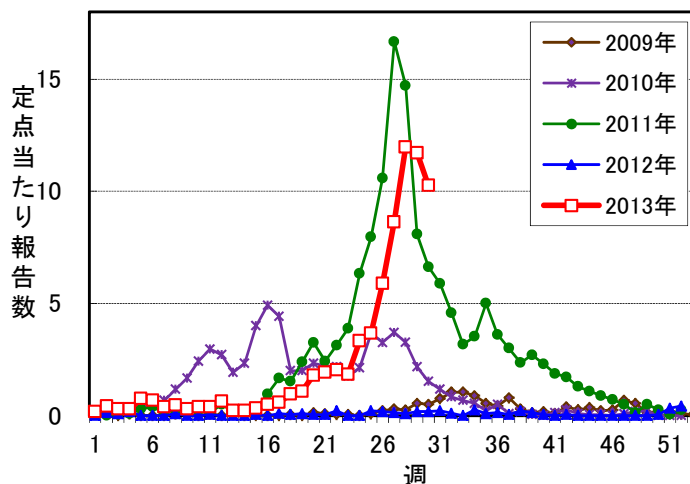
2. 咽頭結膜熱

定点当たり1.50人と、例年より多い状態が続いています。咽頭結膜熱は、発熱・咽頭炎(のどの痛み)・結膜炎が主な症状で、プールでの感染も多くみられることから「プール熱」とも呼ばれています。手洗い・うがいの励行など、感染予防を心がけましょう。

3. 風しん

1件の報告があり、今年の累計は31件となりました。

手足口病の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
インフルエンザ	-	-	0.12		ヘルパンギーナ	25	1.04	2.22	
咽頭結膜熱	36	1.50	0.49		流行性耳下腺炎	11	0.46	0.95	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	31	1.29	0.53		RSウイルス感染症	8	0.33	0.06	
感染性胃腸炎	108	4.50	3.23		急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	20	0.83	0.68		流行性角結膜炎	10	1.25	0.93	
手足口病	246	10.25	2.17		細菌性髄膜炎	1	0.14	0.03	
伝染性紅斑	2	0.08	0.27		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.06	
突発性発しん	12	0.50	0.83		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.14	
百日咳	2	0.08	0.11		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ↘ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇨ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	107	男性(10歳未満)・1人、男性(50歳代)・1人、女性(60歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
5	アメーバ赤痢	1	4	男性(40歳代)・推定感染地域: 国外
5	風しん	1	31	男性(40歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎
報告数	広島市	第26週	-	39	19	103	16	141	1	19	1	12	2	4	2	17	-	-	-	-
		第27週	-	37	30	104	20	207	-	14	-	31	9	2	-	11	4	-	-	-
		第28週	-	33	22	74	26	287	-	9	1	17	9	3	-	9	-	4	1	-
		第29週	-	46	12	93	15	281	1	10	-	26	8	3	-	13	-	2	-	-
		第30週	-	36	31	108	20	246	2	12	2	25	11	8	-	10	1	1	-	-
定点 当たり	広島市	第26週	-	1.63	0.79	4.29	0.67	5.88	0.04	0.79	0.04	0.50	0.08	0.17	0.25	2.13	-	-	-	-
		第27週	-	1.54	1.25	4.33	0.83	8.63	-	0.58	-	1.29	0.38	0.08	-	1.38	0.57	-	-	-
		第28週	-	1.38	0.92	3.08	1.08	11.96	-	0.38	0.04	0.71	0.38	0.13	-	1.13	-	0.57	0.14	-
		第29週	-	1.92	0.50	3.88	0.63	11.71	0.04	0.42	-	1.08	0.33	0.13	-	1.63	-	0.29	-	-
		第30週	-	1.50	1.29	4.50	0.83	10.25	0.08	0.50	0.08	1.04	0.46	0.33	-	1.25	0.14	0.14	-	-
	全国	第28週	0.07	0.65	1.45	3.80	0.97	7.01	0.11	0.63	0.02	2.75	0.34	0.18	0.02	0.63	0.01	0.06	0.41	0.03
		第29週	0.05	0.55	1.05	3.26	0.72	8.09	0.06	0.60	0.01	2.84	0.28	0.20	0.01	0.61	0.01	0.08	0.40	0.03

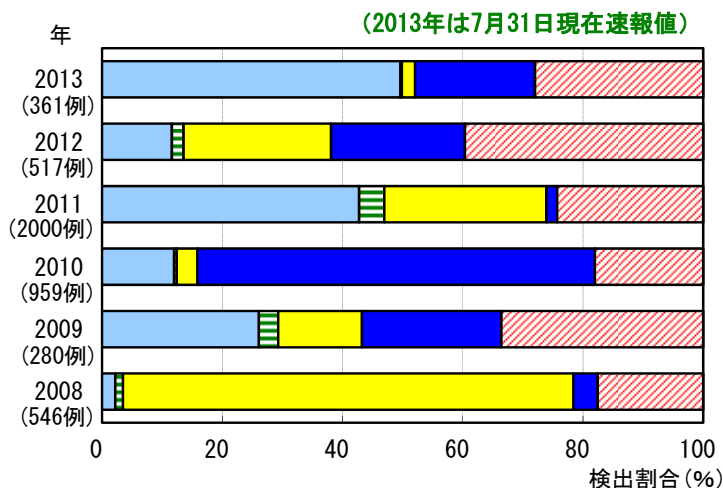
■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	嘔吐 下痢	20	女	2013/05/30	糞便	アデノウイルス5型
手足口病	発熱(39.0) 発疹	0	男	2013/06/21	糞便 鼻汁(拭い液)	コクサッキーウイルスA6型
突発性発しん	発熱 紅斑 リンパ節腫脹	1	女	2013/06/17	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
無菌性髄膜炎	発熱(38.0) 髄膜炎	7	男	2013/05/24	咽頭拭い液	エンテロウイルス71型
その他の呼吸器疾患	発熱(37.5) 気管支炎	0	男	2013/06/05	咽頭拭い液	ライノウイルス パラインフルエンザウイルス3型 アデノウイルス5型
その他の消化器疾患	腸重積	2	男	2013/05/25	糞便	アデノウイルス31型
その他の消化器疾患	発熱(38.0) 腹痛	不明	女	2013/06/07	咽頭拭い液 糞便	アデノウイルス3型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】全国における手足口病患者からのウイルス検出割合 (出典:国立感染症疫学センター)



手足口病は、毎年夏をピークに乳幼児の間で流行するウイルス性感染症です。原因ウイルスは主にコクサッキーA16型(CA16)、エンテロ71型(EV71)で、その他コクサッキーA6型(CA6)、A9型(CA9)やA10型(CA10)などによっても発症します。

2011年の流行時にはCA6が多く検出されており、2013年もCA6の比率が多い状態となっています。

手洗いの励行や排泄物の適切な処理を心がけるなど、感染予防に注意が必要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2013年第30週(7月22日～7月28日)